

年代別自殺の原因・動機別分析（全国）

本資料は、厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」のデータを元に、県において年代別、男女別に順位付けしたものです。

①、②の視点で、令和2年と令和元年を比較した結果、各年代、性別ごとに増加した主な原因・動機は以下のとおりです。

①順位が上位になり、自殺者数も増加したものの

②順位は下位になったが、自殺者数が50人以上増加したものの

<全体>

自殺の原因・動機	増加した年代
「病気の悩み・影響（精神疾患系）」	10代、20代、40代、50代
「負債（多重債務）」	20代、30代、60代
「夫婦関係の不和」	60代、70代
「孤独感」	70代、80代

<男性>

自殺の原因・動機	増加した年代
「病気の悩み・影響（精神疾患系）」	10代、30代、40代、50代
「生活苦」	20代、40代、50代
「孤独感」	60代、70代、80代
「負債（多重債務）」	20代、30代
「親子関係の不和」	10代
「夫婦関係の不和」	70代
「身体障害の悩み」	80代

<女性>

自殺の原因・動機	増加した年代
「病気の悩み・影響（精神疾患系）」	10代、20代、30代、40代、60代
「孤独感」	60代、70代
「親子関係の不和」	20代
「身体障害の悩み」	80代

※警察が作成した自殺統計原票において、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を自殺者1人につき最大3つまで警察統計に計上

<全体>

年代	令和元年と比較して令和2年に増加した主なもの
10代	「病気の悩み・影響（うつ病）」、「その他学友との不和」
20代	「病気の悩み・影響（うつ病）」、「負債（多重債務）」、「親子関係の不和」、「仕事の失敗」
30代	「負債（多重債務）」
40代	「病気の悩み・影響（その他の精神疾患）」、「病気の悩み・影響（統合失調症）」、「生活苦」、「職場の人間関係」
50代	「病気の悩み・影響（統合失調症）」
60代	「夫婦関係の不和」、「負債（その他）」、「家族の死亡」、「家族の将来悲観」
70代	「夫婦関係の不和」、「孤独感」
80代～	「孤独感」、「身体障害の悩み」、「その他家庭問題」

<男性>

年代	令和元年と比較して令和2年に増加した主なもの
10代	「親子関係の不和」、「病気の悩み・影響（その他の精神疾患）」
20代	「負債（多重債務）」、「仕事の失敗」、「生活苦」
30代	「病気の悩み・影響（その他の精神疾患）」、「負債（多重債務）」、「職場の人間関係」
40代	「生活苦」、「病気の悩み・影響（統合失調症）」 ほか
50代	「生活苦」、「病気の悩み・影響（その他の精神疾患）」
60代	「孤独感」
70代	「夫婦関係の不和」、「家族の将来悲観」、「孤独感」、「身体障害の悩み」
80代～	「身体障害の悩み」、「孤独感」、「家族の将来悲観」、「その他家庭問題」 ほか

<女性>

年代	令和元年と比較して令和2年に増加した主なもの
10代	「病気の悩み・影響（うつ病）」、「その他進路に関する悩み」、「学業不振」、「その他学校問題」、「家族からのしつけ・叱責」 ほか
20代	「病気の悩み・影響（うつ病）」、「親子関係の不和」、「病気の悩み（身体の病気）」、「その他進路に関する悩み」
30代	「病気の悩み・影響（うつ病）」、「病気の悩み・影響（統合失調症）」、「職場の人間関係」、「その他交際をめぐる悩み」、「不倫の悩み」、「生活苦」
40代	「病気の悩み・影響（うつ病）」、「病気の悩み・影響（その他の精神疾患）」、「子育ての悩み」、「その他交際をめぐる悩み」
50代	「生活苦」、「その他家庭問題」、「親子関係の不和」
60代	「病気の悩み・影響（うつ病）」、「家族の死亡」、「孤独感」、「その他家庭問題」
70代	「親子関係の不和」、「孤独感」
80代～	「身体障害の悩み」、「その他家庭問題」